

オレンジほっとカフェ諫早

活動地域: 諫早市

主な対象: 認知症当事者と家族の方々

開催方法: 月2~3回のカフェ

活動のきっかけ

代表の長郷さんが偶然TVで「認知症カフェ」の存在を知り、その活動をしたと思ったことと、その後認知症の専門医であるご主人から開催を依頼されたことが、きっかけとなった。長郷さんは信頼できる友人たちに声を掛け、共感したメンバーと活動を開始。試行錯誤で継続し、11年の歳月をかけ自然な形でボランティアの輪が広がり、現在会員49名。

活動の内容

〈開催日時〉

- ・第2月曜・第4木曜 13:00~15:30 参加費300円(コーヒー・茶菓)
- ・第1土曜(奇数月のみ土曜日も開催) 10:30~14:00
参加費500円(昼食・コーヒー・茶菓)

〈開催場所〉

- ・平日午後: 平山公民館(諫早市平山町278-1)
- ・土曜日: 看護センター(諫早市永昌町23-6)

〈参加者〉 認知症当事者の方と介護するご家族、見学者・認知症専門医・スタッフ

〈内容〉 歓談・脳トレ・介護相談・軽い運動・講和・音楽・レクリエーション・簡単な工作など



活動の様子



参加された方の声

カフェは私の心のオアシスです。感謝でいっぱいです。
カフェへ来ると、また明日から頑張ろう!と気がもらえます。
思いを共有できます(悩みなどへの共感)。情報をもらえるし、安心感があります。
カフェへ行くと、妻の笑顔が見られるので嬉しいです。とても楽しいです。

支援されたから私も支えたい

「10年間認知症の夫との暮らしの日々を「オレンジカフェ」に支えられました。認知症の夫の言葉や行動を家族の笑顔につなげてくれることができました。」夫亡き後「支えられたから支えたい」とスタッフデビューされました。11年継続された活動だからこそその「支援の循環」が持続可能な活動の原動力になっています。

ケアの気持ちをカタチに

参加者のみなさんは、スタッフさんが活けたお花が飾られたテーブルを囲んで座ります。
家族と隣同士の人もいれば、離れて座る人もいます。
みなそれぞれ…。
箸袋には季節を感じる切絵が施されています。
季節感を感じてほしいという、スタッフさんのケアへの思いが会場のあちこちに見て取れます。

オレンジカフェのテーマソング

(参加者の方が作詞されました。会のなかで、皆さんで「青い山脈」のメロディで歌います)

1. 貴方も私も支えられ繋がる心に癒されて楽しく明るく手を取り合えば明日から胸にオレンジカフェがある
2. 夢を見ました恋もした遠い思い出つむぎます
今は互いに心の絆オレンジのホットカフェが背を撫でる
3. 一人悩んで泣いた日も誰にも話せぬことでさえ
ここで話せば皆も同じオレンジのホットカフェありがとう



オレンジほっとカフェ諫早
代表 長郷徳子:090-3738-1381
E-mail:n1607ej@yahoo.co.jp